



健康に気を付けて  
師走を乗り切ろう

まずはご報告です。先月号でお伝えしました「ちばアクアラインマラソン2022」のハーフマラソンに参加して、無事に制限時間内に完走することができました。晴天の中、沿道から多くの声援を受け、また、アクアラインから見る景色を楽しみながら走ることができ、思いのほか苦ではありませんでした。今回改めてチャレンジすること、最初の一步を踏み出すことの意味は大きいと感じ、今居た場所から必ず景色は変わることを実感できました。この経験を生かしてさらに市政発展に励んでまいります。

さて、私自身が心掛けていることの一つとして、市民の皆さまとの対話があります。先月は若い世代からも匝瑳市のまちづくりに参画してもらったため、千葉県立匝瑳高等学校、敬愛大学八日市場高等学校の生徒にご出席いただき「高校生まちづくりミーティング」を開催しました。魅力あるまちづくりに向けて、匝瑳市のイメージや魅力を高めるための方

法などについて、率直な意見をいただきました。また、匝瑳市区長会の皆さまとも「まちづくり懇談会」を開催させていただき、私が掲げます6つのまちづくりビジョンと7つの重点施策をテーマにご質問をいただき、市の活性化策や雇用対策、医療の充実などこれからのまちづくりに向けさまざまな意見交換をすることができました。今後も自ら出向いて市民の皆さまと意志疎通を図りながら政策を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

最近新たな波が始まったという声がかかる中、市内の感染者も緩やかに上昇傾向にあります。第8波の感染ピークは1月とも言われておりますが、一喜一憂せずにやはり大切なのは基本的な感染対策の再確認です。マスクや手洗い、密を避けるといった対策は今後も続けていただくとともに、感染状況を見ながら行動することが大切です。

今年も残すところあとわずかとなり、疲れや寒さで体調を崩しやすい季節でもあります。カボチャを使った料理を食べたり、ゆず湯に漬かって過ごしたりと、先人の知恵を取り入れ、健康に気を付けながら師走を乗り切り、すがすがしい気分での新年を迎えましょう。

匝瑳市長 宮内康幸

吉田を歩く

お三夜様

匝瑳探訪

199

新型コロナウイルス感染症が流行し、3年目の今年は、感染対策を講じて催し物や地域行事が再開されたところも多く見られました。市内の集落ごとに行われてきた伝統行事もコロナ禍の中、対応に思い悩むところもあったことでしょう。

江川区(吉田地区)の「お三夜様」の当番に当たる人から、その由来を知りたいと連絡がありました。同区は三つの集落に分かれ、コロナ感染症が広がる以前は、毎年1月・5月・9月・11月の4回、「お三夜様」の23日に近い休日に「二十三夜

講」が行われていたそうです。

二十三夜講は、千葉県内で全体的に分布するとされ、講に参加する人たちも、地域によって男性や女性、そして年齢もさまざまとされます。1月・5月・9月の23日の夜、「講中」といわれる仲間が集まり、掛け軸をつるしてお経を唱えたり飲食や歓談をしたりしながら月が出る深夜まで待ち、豊作や家内安全などを祈願したといえます。

月を拝んで祈願や悪霊を払う「月待行事」は他に、十五夜、十九夜などの特定の月例の夜にも行われました。

それらを知る手掛かりは、寺社の境内や墓地、路傍などに立つ「供養塔」にあります。

二十三夜は「勢至菩薩」を本尊とすることから、石塔正面に「大勢至菩薩」「奉待三夜勢至菩薩」「二十三夜塔」と刻まれたものが、旧八日市場市域では10余基確認されています。1756年がもっとも古く、1800年代前半の造立がほとんどです。

江川下集落では「勢至菩薩」が描かれた掛け軸を当番が引き継いで行われてきました。11月下旬の再開を予定していたものの、コロナ感染状況により取りやめになったと聞きました。

集落ごとの伝統行事を再開し、継続するためには、その由来や先人の残したものを講員に知ってもらうことの大切さを再認識する機会にもなりました。

(市文化財審議会委員・

依知川雅一)

関秘書課広報広聴班

☎73・0080



二十三夜講の掛け軸

# 文芸コーナー

## 短歌

依知川雅一推薦

くずれなし今宵は皆既月食の  
夜寒を忘れ天空見上ぐ

高橋百合子

苔光る北八ヶ岳原生林

登山ガイドは秋あかねなり

山下千賀子

写真しか会えぬひ孫の愛しさよ

コロナの収束なお待ち遠し

川口 登喜

ゴミ拾う堀川浜で若者は

笑顔を砂に書き置きしてく

小川 一夫

籠づくり生業として生きた祖父

技が光る一品ここにあり

内藤喜代美

竿で取る豊作の柿今年もと

モズの分け前天辺に残す

林 暁男

栗の実の収穫わずかこの秋は

春の嵐で花散りたれば

古谷由美子

朝より晴れし今日なり病室の

窓よりかそか九十九里浜見ゆ

川口城司 推薦

木犀の香り漂ふ秋の日に

友は黄泉へと旅立ちにけり

小川 知至

伊橋 良子

## 俳句

椿 和枝 推薦

薄日差す牛舎の跡や木の実落つ  
建具屋の耳に鉛筆冬帽子

那須 恒雄

荒れ花壇野菊繚乱吾がおごり

長生きは楽しさみしと日向ぼこ

光瀬甲江子

十月の誕生月を子は愛す

まっすぐに水面に降りて初時雨  
慰霊祭手を合わせしも父知らず

岩井 やす  
大川 宣子  
椎名 晴江  
伊橋 勝利

秋深し残る甘夏落ちもせて

彼の人の気配障子に秋立ちぬ

川口城司 推薦

初とんぼ碧い目玉の美形なり

年の瀬は慌てずゆるり八十路坂  
コロナ禍で部屋は埃の雪景色

飯田 良子

大掃除ルンバ逃げてる粗大ゴミ

年の瀬はこの一年の大掃除

勝又康之 推薦

大掃除明日明日の大晦日

物価高年末セール期待する

大掃除へそくり見つけ疲れ飛ぶ

川口城司 推薦

久し振り元気に集う文化祭

八十路過ぎ川柳仲間にただ感謝

須貝 玉泉

石橋 春歩

## 力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒2289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2  
☎73-0080 FAX73-1114

## おすすめの本

『戦争をやめた人たち 1914年のクリスマス休戦』

鈴木まもる／文・絵 あすなろ書房

第一次世界大戦中の12月24日の夜、敵対するドイツ軍とイギリス軍の最前線に「クリスマスキャロル」の歌声が流れ、兵士たちは戦いをやめました。戦場であった、奇跡のような話です。

『収納上手のインテリア 押入れ』

成美堂出版編集部／編 成美堂出版

難しい押し入れ収納が、楽しくできます。スッキリ片付けて、クローゼット、デスクとして活用する方法を紹介します。押し入れの豆知識、湿気・カビ・防虫対策なども掲載しています。

## 図書館だより

匝瑳市八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

- 休館日… 1日(木)、毎週月曜日
- 年末年始休館日… 28日(水)～1月4日(水)

### 本の寄贈について

「年末の大掃除、本を捨てるのはもったいないから、図書館に寄贈しよう」——。図書館では、すべての本を受け入れることはできません。借りられる見込みのある本や匝瑳市にゆかりのある郷土資料をお受けしています。状態の良くないものや専門性の高いものは、お断りする場合があります。また、保管場所の確保が難しいため、全集や百科事典はお預かりしていません。DVDは著作権の問題から、市販のものは受け入れができません。

お持ちいただく前に電話にて図書館までお問い合わせください。

なお、寄贈された本などの取り扱いについては、図書館に一任していただきます。資料とならない本などは、無償での提供や廃棄処分をさせていただきます。

### 探しています

図書館では、八日市場や野栄にゆかりのある人物について書かれた郷土資料の受け入れを行っています。

また、八日市場・のさか図書館で1冊ずつ所蔵の『野栄町史』を探しています。

図書館ホームページはこちら  
<https://www.library.sosa.chiba.jp>

